

第68回（平成26年度第3回）番組審議会議事録

1. 開催日時：平成26年9月22日（月）午前10時00分～11時55分

2. 会 場：西宮市職員会館 第1中会議室

3. 出 席 者： 委員総数：7名
出席委員：7名

放送事業者側出席者	代表取締役社長：1名
	統括部主幹：1名
	統括部主事：1名
	常務取締役：1名
	顧 問：1名
	西宮市広報課：1名

4. 議題

番組内容についての審議

「地域いきイキ！」（西宮市提供） 毎週土曜12：00～12：15

5. 議事概要

社長より、今回初めて参加される委員の紹介。また皆様から新たに多くのご意見を賜り、より発展する方向へお力添え頂きたい旨を述べ、より多くの角度からの審議をお願いした。

事務局より本日の委員出席状況として、委員総数7名中7名全員が出席しており、過半数以上の出席により審議会は有効に成立している旨の報告があった。

その後は議題に沿って各委員からのご意見をいただき、必要に応じて放送事業者側出席者が説明・回答しながら進行。

6. 審議内容

(1) 番組の審議

委員長：聴いていただいた番組について質疑応答に入ります。お感じになった事を忌憚なく発言を願いたい。

委員：塩瀬校区老人クラブと言ってたが名塩老人連絡協議会とって番組内でも山本会長がおっしゃってたがたくさんの方が参加していきいきと生活されています。スポーツ21にも参加しグラウンドゴルフとか輪投げとか、ほとんど1週間毎日動いておられます。地域によっては西宮が勧めているいきいき体操、それを何ヶ所か取り入れてやっておられます。

委員：聞かせてもらって名塩地区は活躍されてる。私の地域ももっと頑張らないと刺激になる。こうやって活動を紹介されてると触発される。地域活動の活性化にもなっているいい番組だと思う。

ただ、残念ながら聴く機会がなかなかない。時間帯のせいかな？検討の余地があるのでは？

委員：この1週間で出演されてた山本さんともお会いしたが、何もおっしゃらない。ラジオに出たこと。

委員長：和気あいあいと活動されてる感じがしていい。ただ、早口なのかラジオの性能なのか聞き取りにくい部分が多い。放送時間が短いので急いでいるのか、たまたまかけるような質問の仕方がせわしない。

委員：内容的にはいろんなことを聞いてみようといろいろ準備してるというか、時間の中で効率的にインタビューしようとしてる。かなり時間を意識したインタビューになってるように思う。

委員：大勢の中でしゃべってるので聞き取りにくい。

委員：30分番組だったらもう少し聞きやすいのかも。地域活動を紹介する番組。趣旨としては活動してる者としては大変ありがたい。が、全市で聞いていることを意識してもっと団体の紹介をしてほしい。例えば今回なら老人連合会は市域全体で活動してる、その中の名塩の会であるなど。

時間がないので大変とは思いますが。

インタビューされた方はどういう方ですか？

主幹：タレントさんです。他局でもレポーターの経験あり。

委員：会長へのインタビューが長かったか？この日の活動であった「ハイキング」に重点を置いたインタビューにしてはどうだったか？

委員：各地域の活動が分かってよい。特に年が離れてるとわからない世代の活動が分かるのはいい。ラジオの特性上詰め込みは仕方ないと思う。一つの質問に対して複数の方が答えるのは分かりにくいので、インタビューは対一がよ

いと思う。技術的に野外でのインタビューなので仕方ないのか？声のレベルが一定でないのが残念でした。風の音とが影響してるのか？

顧問：番組の趣旨はいいと思うが構成をもっと考えた方がよい。発言がダブっている。その会の紹介など予め分かることはプロが先に説明し、本人しか分からないようなこと（苦労話など）をインタビューで聞くようにする。相手がいなければ分からないことを聞く。地域特性の部分をインタビューすることで全市で放送する意味がある。構成の仕方がちょっと足りない。コンパクトにまとめすぎ。

あと、臨場感がない。参加者がどんな格好してるのか、どういう雰囲気でも活動してるのかなど、第三者的に見たレポートがいるのではないかな？しゃべらせてばかりではあまり意味がない。リスナーがアクションを起こしたくなるような構成を。

委員：風の音を消してみても？ソフトであると思う。あと、西宮市南部ではさくらFMが入りにくい。電波が弱い。何か工夫してもらえないでしょうか？

委員：率直に言うと単調で面白くない。年齢的に老人会と聞くと関係ないと思って聞き流してしまう。

老人会というものがよく分からないのでまずはその説明を入れてほしい。地名もあんまり聞こえてこなかったの、「どこの」「誰」をもっと明確にしては？サーと流れていった感じがした。外でせっかくインタビューしてるのに臨場感がないので、逆に外じゃなくてもいいのでは？

あと、ラジオは車でよく聴くのだが、車にさくらFMがセットされてない。どうやって合わせるのかも分からず聴ける機会があまりない。

委員：話の内容はすんなり入ってきた。世代が違うとそういう情報にはあまりひっかからない。もっと老人ならではの話を聞いてほしい。地域で生活してる人が集まって何かするって楽しいっていうことを理解できない世代に。一面的に聞いている感じがした。

委員：番組の感想を聞くだけでも世代の違いを感じる。

委員：こういう番組がきっかけで世代間の差がなくなればいいですね。地域では3世代交流などで世代間の差をなくそうとしてますし。

委員：となりの人間国宝というテレビ番組がある。知ってる場所・見たことがある場所が出てくるとずっと見てしまう。「〇〇町の誰」がもっとわかればリスナーが増えるのではないかな？

顧問：この番組は地図と連動させると面白いかも。南部の人は北部の地名を聞いても知らん人が多いし、逆もそうですから。ラジオ聴いてる人がみんな地図を広げて聞いていると思ったら面白いですね。

社 長：素晴らしい意見をたくさんいただいて感謝している。耳が痛い話も多いし
 猛省しないといけない部分もたくさんある。市側の意向も結構あって始まっ
 た番組だが、この番組を回すのに現状の戦力では正直人手不足。今日頂いた
 意見にはすぐに対応したいが、すぐにできることと少し時間をいただく部分
 がある。そこはご理解いただきたい。

委 員：ラジオの中継器みたいなのはないのか？

社 長：電波の問題はいろいろあってそうたやすく進められる話ではない。中継局を
 作れば作るほどによくなるのは分かっているが経費の問題などでそう簡単にも
 いかない。インターネットサイマル放送が難聴対策でこれはリスナーのカ
 ウントもできて重宝している。もっと電波でも聞いていただけるように努力
 します。

委 員：さくらFM自体はよく知ってたが、なかなか聴く機会と聞く術がない。ラジ
 オを持ってない。スマートフォンで聞けることも今日初めて知りました。

社 長：まだまだアピール不足の部分もある。もっと頑張らないといけないと感じて
 いる。

取締役：カーナビでさくらFMを設定するのは金がかかるのか？

社 長：かからない。ガソリンスタンドでお願いしたらやってくれます。最近ラジ
 オがまた盛り上がってきてる。深夜放送なども復活しつつある。さくらFM
 がどこまで対応できるかは分からないが、いろいろみえてくる問題点を人手
 の関係もありすぐに全部クリアにはできないが、少しずつ対応していきたい。

(2) 番組以外の審議

委 員：緊急告知ラジオはもう少し活用できないのか？この先何年か・何十年か先の
 大地震のためだけに使うのはもったいなくないか？一つは今回の（広島の）
 土砂災害の件とか。

社 長：市の防災無線は土砂降りのなかでは聞こえない。このラジオがあればその辺
 を聴くことができる。そこにどういう情報をタイムリーに入れていけるかとい
 うのは市としても大きな課題。この辺の情報提供を上手にしないとイケな
 い時代になった。市とも論議を交わしていく。

委 員：このラジオなら（難聴地域でも）もっとクリアに聞こえるのか？

社 長：感度は随分といい。普通のラジオに比べたら。カーラジオといい勝負。1年
 以上かけてずいぶん改良をしてきた。
 ベイコムに加入されてたら分配器でアンテナ線と繋いだらクリアに聴こえる。
 それでも電波の状況が悪い地域もある。

委 員：17日の緊急告知ラジオの試験放送にはどんな内容が流れてるのか？

社 長：毎月17日の17時に「こちらは試験放送です～」のアナウンスが流れる。

実際の災害時は最大音量で流れるが、この試験放送は各ラジオで設定されている音量で流れる。

顧 問：防災無線の声はもっと明るくならないのか？声が暗くてびっくりする。

社 長：あれは市の職員の声。防災スピーカー用に山にコダマしても聞き取れるように遅くしゃべっている。それが怖いというクレームは確かにある。せめて声のきれいな女性の声でとも思う。

顧 問：この類の緊急放送は男性の声でないと。女性の声では緊迫感が伝わらないらしい。しかし、プロのアナウンサーの声を入れといた方がいいと思う。あれは生の声か？

社 長：録音を流している。本当の緊急時は職員がしゃべる。

議長は委員にその他特にご意見がない旨を確認し、本日の審議会を終了し閉会する旨を述べる。統括部主事から退職の挨拶と今後の審議会の運営を方法を説明。

社長は審議会でご意見を頂いた事への謝意を述べ、閉会にあたって挨拶を行った。事務局は次回の審議会は平成26年11月20日の午前10時00分にと決定し、会場と審議番組は後日改めて連絡致す旨を伝えた。議長は、午前11時20分に審議会閉会を宣した。議事の経過を明確にするため、議事録を作成し、委員長及び出席委員の記名押印をする。

7. 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法

近畿総合通信局への提出が完了次第「さくらFM」のホームページ
(URL <http://sakura-fm.co.jp/>) にて掲載。

平成26年9月22日

西宮コミュニティ放送株式会社